

令和元年 12 月 26 日

お知らせ

公益社団法人 京都市観光協会
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

京都市観光協会データ月報（2019 年 11 月）について

このたび、京都市観光協会データ月報（2019 年 11 月）をとりまとめましたのでお知らせします。

1 調査結果のポイント

延べ宿泊客数 9.2%増と 14 ヶ月連続で前年同月超え

- 京都 58 ホテルにおける 2019 年 11 月の延べ宿泊人数は、前年同月比 9.2%増と 2018 年 10 月以降 14 ヶ月連続で前年同月を上回った。
- 日本人延べ人数は、前年同月比 2.7%減と、2 ヶ月連続で前年同月を下回った。前年は、紅葉ピーク期に「勤労感謝の日」（11 月 23 日）に伴う 3 連休（金土日）があったのに対し、今年は同祝日が土曜日で、通常の土日の連休であったことに加え、東日本に甚大な被害をもたらした「台風 19 号」等の自然災害や消費税増税による旅行需要の低下等が、引き続き影響していると思われる。
- 外国人延べ人数は、同 26.0%増と 14 ヶ月連続で前年同月を上回り、外国人比率は 45.6%（同 6.1 ポイント増）と、11 月としての最高値を更新した。
- 京都 58 ホテルにおける客室稼働率は 89.1%（前年同月比 1.8 ポイント減）と、販売可能客室数が同 12.8%増加する中、直近 1 年において、2019 年 4 月（89.8%）に次ぐ 2 番目に高い数値となった（前年は、4 月、5 月、10 月に次ぐ 4 位）。

ラグビーワールドカップ効果で欧豪市場が継続して伸長

- 外国人延べ人数を国・地域別で見ると、中国が前年同月比 47.4%と大きく伸長し、2018 年 11 月以降 13 ヶ月連続での二桁成長となった。構成比でも 28.8%と 11 月としての最高値を更新し、30 ヶ月連続で 1 位を堅持した。2 位のアメリカ（構成比 15.2%）も、前年同月比 15.0%増と 19 ヶ月連続で増加した。構成比 3 位の台湾は、同 31.8%増と 3 ヶ月連続で二桁成長を示しているが、昨年 9 月の台風被害による関空閉鎖等による減少の反動も一定あると思われる。
- 伸率においては、ドイツ（前年同月比 52.7%増）、イギリス（同 34.9%増）、オーストラリア（同 34.4%増）、イタリア（同 29.0%増）、スペイン（同 28.9%増）、フランス（同 23.7%増）など、ラグビーワールドカップ関連国等で成長が続いた。※ラグビーワールドカップ日本大会：2019 年 9 月 20 日～11 月 2 日
- 韓国は、日韓情勢等を背景に本年 8 月以降、大幅な減少が続いており、11 月も前年同月比で 51.0%減少した（日本全体は 65.1%減）。

STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

2 調査のあらまし

(1) 概要

外国人宿泊状況をタイムリーに把握できるよう、平成 26 年（2014 年）4 月以降、京都市内の主なホテルの協力を得て、国・地域別の調査（「実人数」「延べ人数」「延べ部屋数」）を毎月実施。※全国で唯一の取組（京都市観光協会調べ）。

なお、本調査では、ビジネス、観光を問わず、日本国籍以外のパスポートを有する人すべてを「外国人」として定義している。

* 過去の調査結果は当協会ウェブサイトに掲載：<https://www.kyokanko.or.jp/report/>

(2) 対象ホテル

・58 ホテル 12,568 室（2019 年 11 月現在）

※京都市内ホテルの客室数ベースで約 4 割をカバー（京都市観光協会調べ）

※前年と本年では対象ホテル数・客室数が異なるため、昨年発表の 2018 年 11 月数値（46 ホテル）と今回発表の 2019 年 11 月数値（58 ホテル）は異なる場合がある。なお、対象ホテルにおいては、調査対象月における前年と本年の数値提供を得ている。

※P8 の客室収益指数（RevPAR）等の数値は、ホテルデータサービス会社 STR（本社：イギリス・ロンドン）からの提供によるもので、上記 58 ホテルとは対象が一部異なる。

(3) 分析数値

「客室稼働率」「外国人比率」は、「延べ部屋数」の集計による。

「構成比」「伸率」は、「延べ人数」の集計による。

「構成比」は外国人客数における国・地域別割合を示す。

「伸率」は前年同月からの増減率を示す。

「販売可能客室数」は日々販売されている客室数の月間累積値を示す。

例) 100 部屋を有するホテルにて、20 室が改装工事中、80 室を 30 日間販売していた場合
販売可能客室数：80 室×30 日＝2,400 室

(4) その他

本資料の数値を引用する場合は、「出典：京都市観光協会データ月報」を明示してください。

ただし、P8 の STR データについては、STR の書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられています。なお、報道・メディア媒体への掲載については、（公社）京都市観光協会（担当：加藤）までお問合せください。

<京都観光総合調査との関連について>

京都市全体の観光動向の把握については、ほぼすべての市内宿泊施設（旅館業法許可施設）を対象とする「京都観光総合調査」（京都市から年 1 回発表）が基本指標となる。当調査は、インバウンドマーケットの傾向を把握するための、京都市内の主なホテルを対象とするサンプル調査であるため、その他ホテルや旅館、簡易宿所、いわゆる「民泊」等に宿泊した外国人客は含まれておらず、訪日外客数（日本全体）との比較等も参考分析という位置づけとなる。

<本件に関する問い合わせ先>

公益社団法人京都市観光協会

TEL：075-213-0070 e-mail：marketing@kyokanko.or.jp

担当：マーケティング課 水上、堀江、加藤

京都市観光協会データ月報（2019年11月）

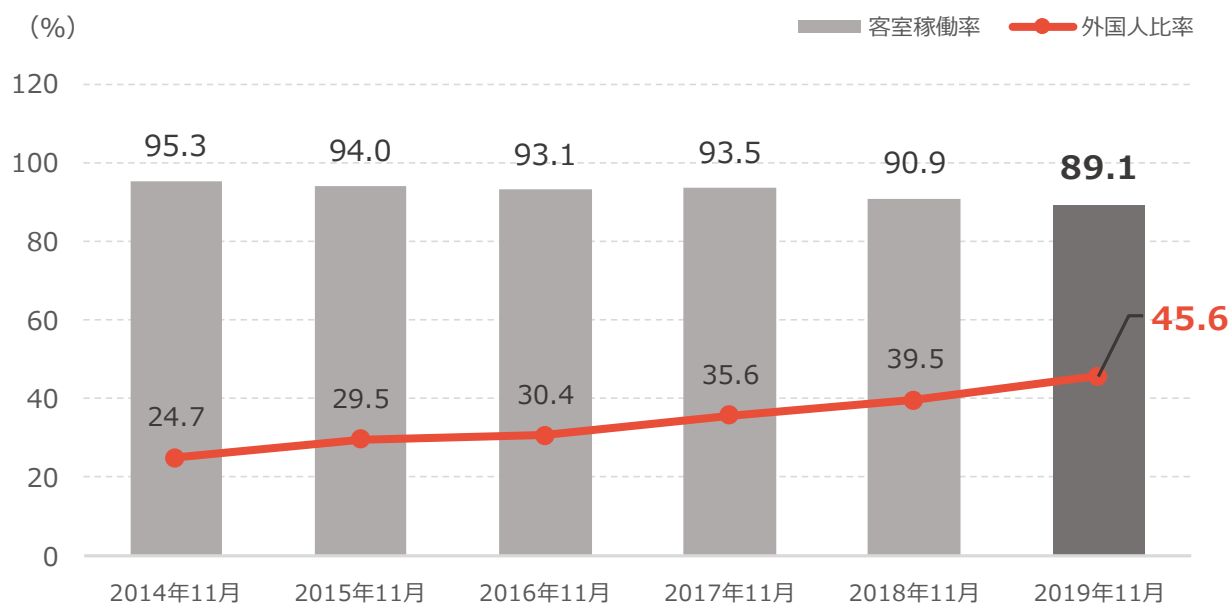
【索引】

1 客室稼働率・外国人比率の推移	5
2 構成比（国・地域別）（延べ人数）	6
3 伸率（国・地域別）（延べ人数）	6
4 宿泊客数の伸率（延べ人数）	7
5 宿泊客数伸率の推移（延べ人数）	7
【参考1】客室収益指数等の他都市比較（出典：STR）	8
【参考2】京都市内4百貨店における免税売上	9
【参考3】京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR京都駅ビル2階	10
【参考4】京都旅行に影響すると考えられる主な国際航空路線の増減	11
【参考5】為替レートの推移	13
京都58ホテル宿泊状況調査結果詳細（2019年11月）	14
京都58ホテル宿泊状況調査結果詳細（2019年1月～11月累計）	15

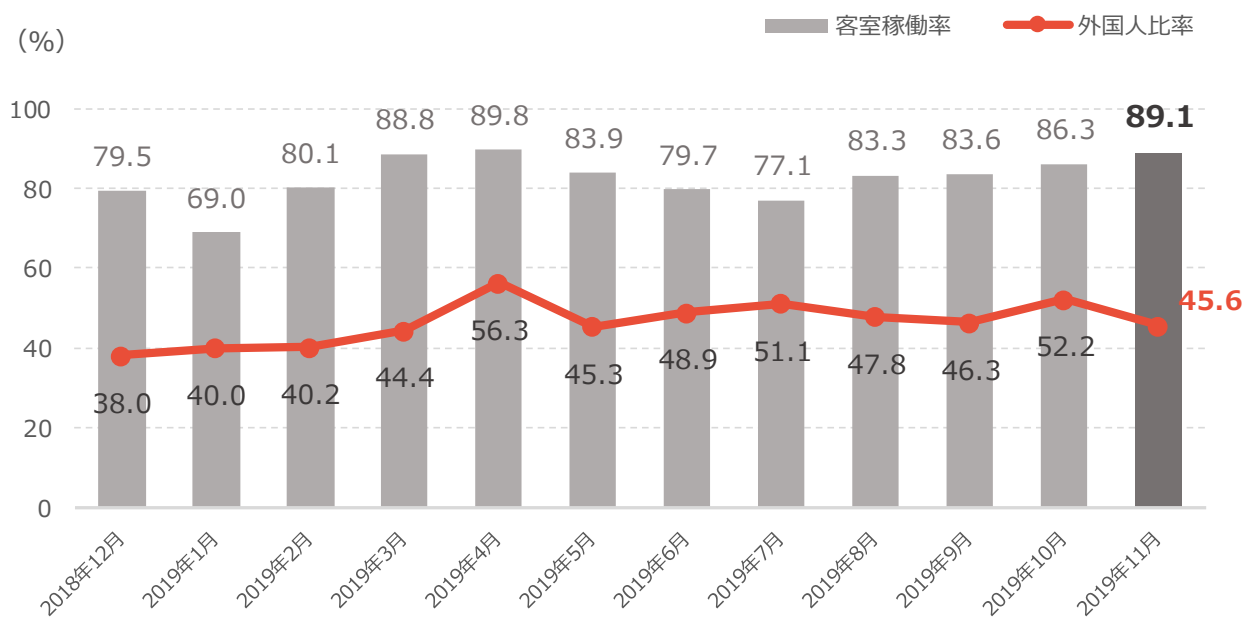
京都 58 ホテル 宿泊状況調査結果 (2019 年 11 月)

1 客室稼働率・外国人比率の推移

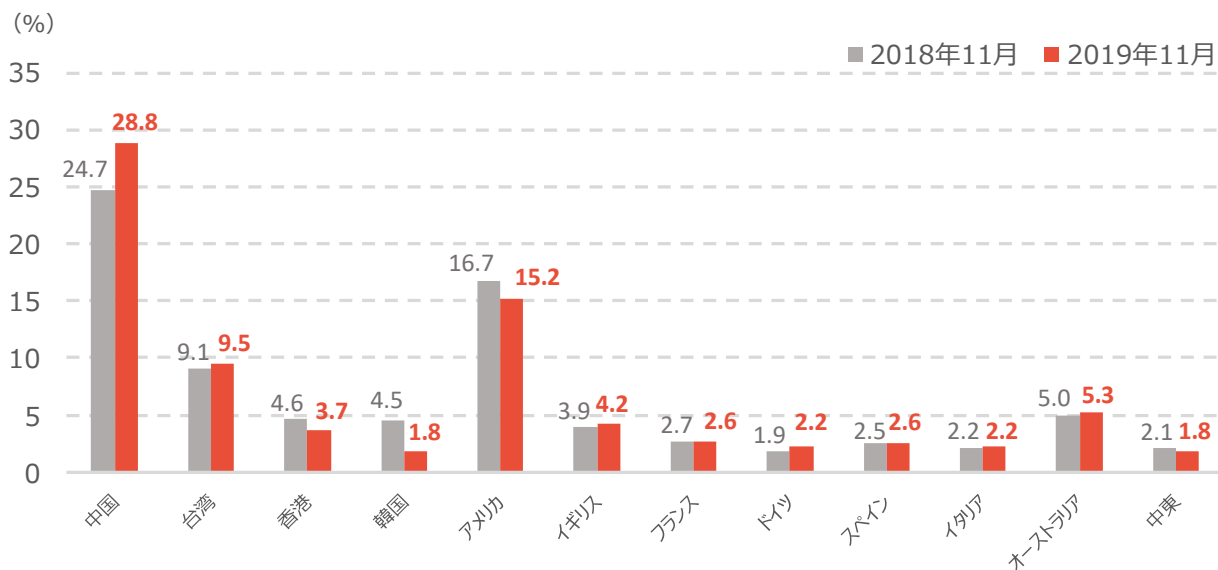
1-1. 11月の経年推移



1-2. 直近1年間の月別推移

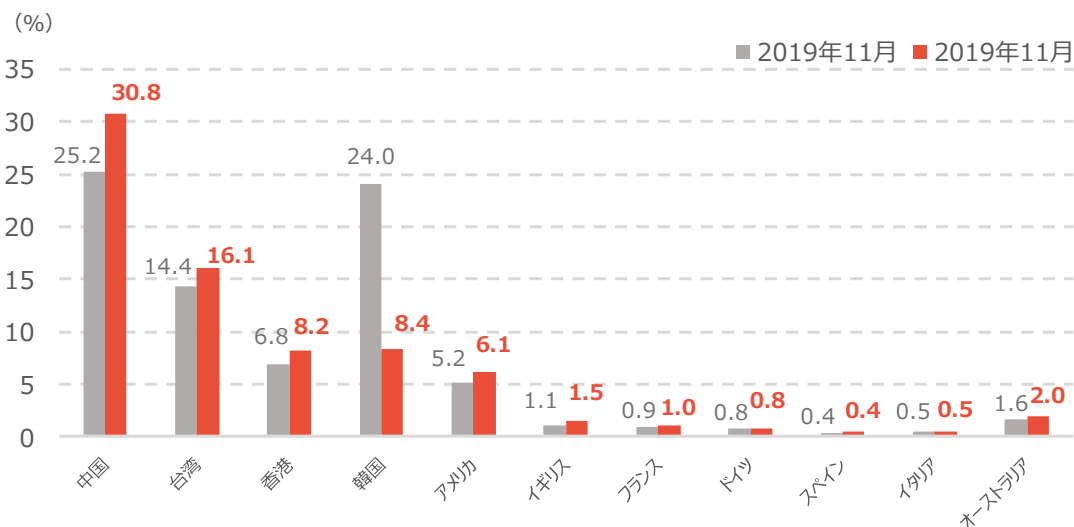


2 構成比（国・地域別）（延べ人数）

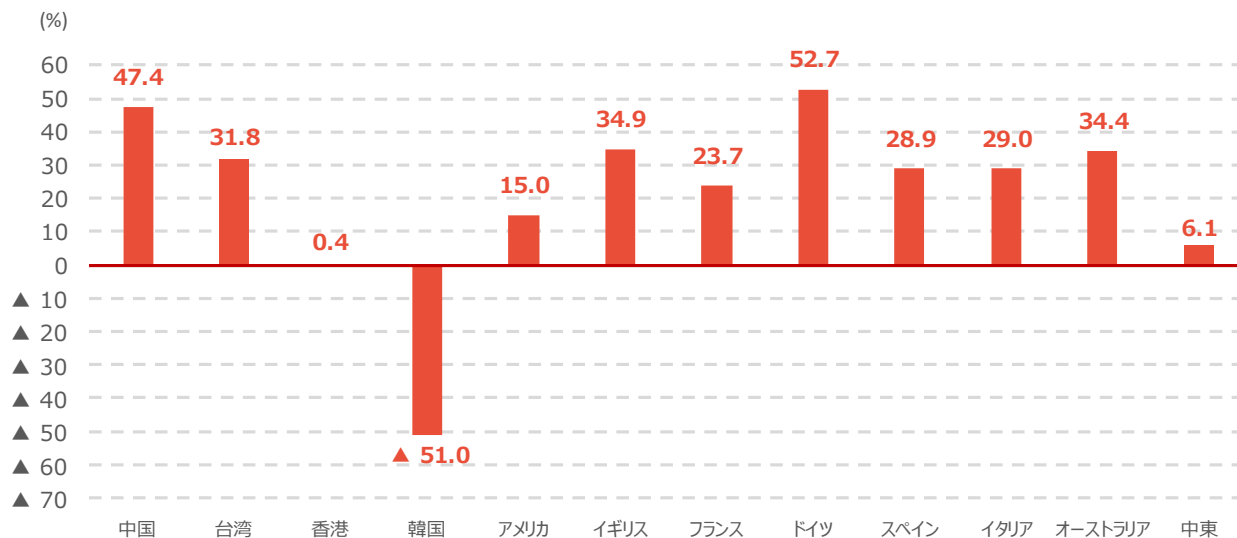


【参考】訪日外客数・構成比（国・地域別）（実人数）

出典：日本政府観光局（JNTO）

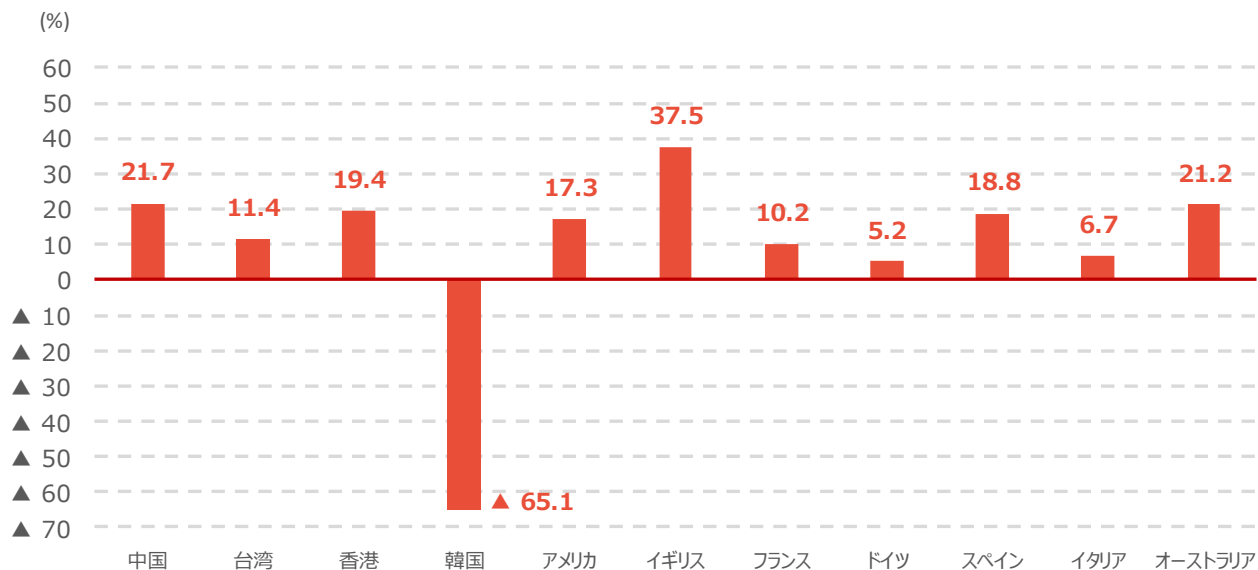


3 伸率（国・地域別）（延べ人数）



【参考】訪日外客数・伸率（国・地域別）（実人数）

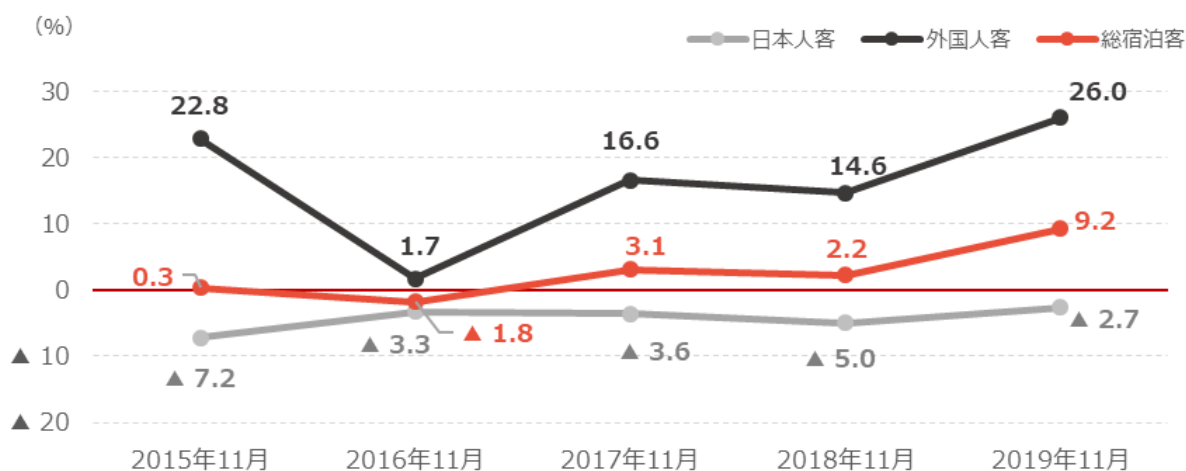
出典：日本政府観光局（JNTO）



4 宿泊客数の伸率（延べ人数）

	2019年11月	2018年11月	伸率
日本人宿泊客数	313,067人	321,680人	▲2.7%
外国人宿泊客数	287,212人	227,856人	26.0%
総宿泊客数	600,279人	549,536人	9.2%
販売可能客室数	377,040室	334,260室	12.8%

5 宿泊客数伸率の推移（延べ人数）



【参考1】 客室収益指数等の他都市比較（出典：STR）

主要都市別 OCC・ADR・RevPAR （2019年11月）

STR との契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

主要都市別 OCC・ADR・RevPAR 前年伸率（2019年11月）

STR との契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

【用語解説】

OCC Occupancy Ratio の略で客室稼働率を示す。

ADR Average Daily Rate の略で平均客室単価を示す。

RevPAR Revenue Per Available Rooms の略で客室収益指標を示す。販売可能客室数あたりの客室
売上の数値で、客室稼働率（OCC）×平均客室単価（ADR）で算出される。

当データについては、STR の書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられております。報道・メディア媒体への掲載については、（公社）京都市観光協会（担当：加藤）までお問合せください。

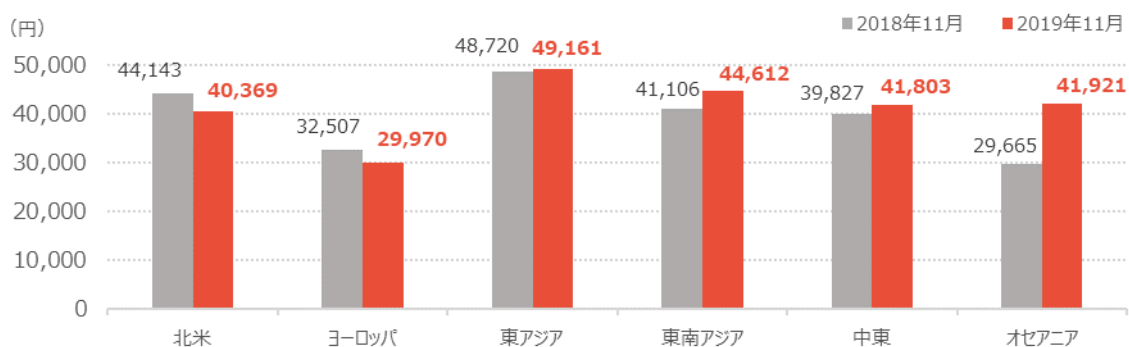
【参考2】京都市内4百貨店における免税売上

免税売上および総売上

	2019年11月	2018年11月	伸率・前年同月差
免税件数	30,276件	34,542件	▲12.4%
免税単価	47,799円	47,447円	0.7%
免税売上額	14億4,716万円	16億3,893万円	▲11.7%
総売上額*	204億5,812万円	219億9,655万円	▲7.0%
免税売上割合	7.1%	7.5%	0.4ポイント減

※総売上額には免税対象とならない飲食サービス売上等も含まれる（税別）

免税単価（1件あたりの免税売上額／免税売上額÷免税件数）



免税売上額に占める国・地域別割合（構成比）

2019年11月				2018年11月		
	国・地域名	構成比	前年同月差		国・地域名	構成比
1	中国	74.3%	▲1.7ポイント	1	中国	76.0%
2	台湾	5.8%	1.2ポイント	2	台湾	4.6%
3	香港	3.8%	▲0.1ポイント	3	香港	3.9%
4	アメリカ	2.1%	▲0.1ポイント	4	韓国	2.7%
5	タイ	1.4%	0.3ポイント	5	アメリカ	2.2%

【参考3】 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR 京都駅ビル2階

相談者数（人）	2019年11月	2018年11月	伸率
日本人	41,061	46,017	▲10.8%
外国人	27,269	27,678	▲1.5%
合計	68,330	73,695	▲7.3%

来所者数（自動カウント機による）	129,609	134,697	▲3.8%
------------------	---------	---------	-------

外国人相談者における国・地域別割合

	2019年11月			2018年11月	
	国・地域名	構成比	前年同月差	国・地域名	構成比
1	中国	17.7%	▲2.6ポイント	中国	20.3%
2	アメリカ	11.1%	2.6ポイント	アメリカ	8.5%
3	台湾	7.4%	▲0.4ポイント	台湾	7.8%
4	オーストラリア	6.2%	2.5ポイント	韓国	6.1%
5	シンガポール	5.3%	▲0.4ポイント	シンガポール	5.7%

【参考4】 京都旅行に影響すると考えられる主な国際航空路線の増減

- 10月27日に冬のダイヤ改正が施行され、中国方面路線が強化された。
- 日韓関係の情勢悪化にともなう韓国方面路線の減便状況は、データ月報2019年8月号を参照。

期間	路線	航空会社	分類	1週間あたり数
11月1日	中部=無錫	深圳航空	新設	7便
11月2日	関西=済州	大韓航空	廃止	4便→0便
11月2日	那覇=天津	中国国際航空	廃止	2便→0便
11月4日	成田=済州	大韓航空	廃止	3便→0便
11月5日	関西=香港	ピーチ	減便	18便→11便 3月12日までの間の15日間
11月5日	関西=釜山	ジンエアー	廃止	7便→0便
11月7日	中部=西安	長竜航空	新設	7便
11月18日	成田=台北	ジェットスター・ジャパン	減便	7便→4便 11月30日まで
11月20日	成田=クアラルンプール	エアアジアX	新設	4便
11月20日	関西=青島	廈門航空	新設	7便
11月24日	関西=台北	ピーチ	減便	28便→21便 12月8日まで
11月25日	福岡=台北	ピーチ	新設	7便
11月25日	関西=蘭州	海南航空	新設	2便
11月25日	関西=連雲港	海南航空	新設	2便
11月26日	関西=鄭州	中国西部航空	新設	3便
11月26日	関西=重慶	中国西部航空	新設	3便
11月27日	福岡=ホノルル	ハワイアン航空	新設	4便
11月29日	成田=サイパン	スカイマーク	新設	7便
12月1日	成田=台北	ピーチ	増便	7便→14便
12月1日	新千歳=シンガポール	シンガポール航空	新設	7便
12月1日	中部=南通	深圳航空	新設	4便
12月2日	中部=杭州	長竜航空	新設	7便
12月2日	関西=杭州	長竜航空	新設	7便
12月12日	成田=上海浦東	春秋航空日本	新設	7便
12月12日	関西=香港	ジェットスター・ジャパン	新設	3便
12月16日	関西=淮安	春秋航空	新設	3便
12月16日	新千歳=ヘルシンキ	フィンエアー	新設	2便
12月16日	新千歳=シドニー	カンタス航空	新設	3便
12月17日	関西=廈門	春秋航空	新設	5便
12月18日	広島=バンコク(ドンムアン)	ジャクスクート	新設	3便
12月22日	関西=広州	九元航空	新設	7便
12月30日	中部=武漢	ウルムチ航空	新設	3便
12月30日	中部=ウルムチ	ウルムチ航空	新設	3便
12月31日	中部=済南	ウルムチ航空	新設	3便
12月31日	中部=ウルムチ	ウルムチ航空	新設	3便

期間	路線	航空会社	分類	1週間あたり数
1月7日	成田=台北	ジェットスター・ジャパン	減便	7便→4便 1月18日まで
1月7日	関西=釜山	ピーチ	廃止	7便→0便
1月19日	関西=マニラ	ジェットスター・ジャパン	休止	3便→0便 2月17日まで
1月20日	中部=マニラ	ジェットスター・ジャパン	休止	4便→0便 2月16日まで
1月21日	成田=台北	ピーチ	増便	14便→21便
2月25日	成田=台北	ピーチ	減便	7便→4便 3月27日まで

出所) 航空会社プレスリリースおよび関西エアポート新規就航情報をもとに作成

(注) 網掛け部分は、前月のレポートから更新した情報

【参考5】為替レートの推移

- 夏頃まで円高傾向が続いていた米ドル・英ポンド・豪ドル・香港ドル・中国人民元・韓国ウォンは、反転して円安となり観光客にとって有利な方向へ戻る兆しがある。
- タイバーツは円安傾向が続いており、直近3年間で最も観光客にとって有利な状況となっている。

月平均 Telegraphic Transfer Buying (「外貨」を「円」に交換するときのレート)

(数値が小さくなるほど、円高となり、外国人観光客にとっては不利)

時点	米ドル	ユーロ	英ポンド	豪ドル	香港ドル	台湾ドル	中国人民元	タイバーツ	韓国ウォン	
2017	1月	113.8	120.6	137.6	83.8	14.4	0.273	16.5	3.16	9.6
	2月	112.1	118.9	137.3	84.6	14.2	0.271	16.2	3.15	9.7
	3月	112.0	119.2	135.5	84.1	14.1	0.269	16.1	3.16	9.8
	4月	109.1	116.5	135.0	81.1	13.7	0.274	15.7	3.12	9.5
	5月	111.3	122.6	141.0	81.4	14.0	0.266	16.0	3.18	9.8
	6月	109.9	123.0	138.0	81.7	13.8	0.271	16.0	3.18	9.6
	7月	111.4	127.9	142.0	85.5	14.0	0.268	16.3	3.25	9.7
	8月	108.9	128.4	138.6	85.1	13.6	0.273	16.2	3.23	9.5
	9月	109.7	130.4	143.1	86.2	13.7	0.270	16.6	3.26	9.6
	10月	112.0	131.4	145.2	86.1	14.0	0.263	16.8	3.32	9.8
	11月	112.0	131.0	145.3	84.1	14.0	0.264	16.8	3.35	10.1
	12月	112.0	132.2	147.5	84.4	14.0	0.263	16.8	3.38	10.2
2018	1月	109.9	133.8	149.4	86.3	13.8	0.263	17.0	3.40	10.2
	2月	107.0	132.0	147.1	83.1	13.4	0.268	16.8	3.36	9.8
	3月	105.1	129.4	144.2	80.4	13.1	0.273	16.5	3.31	9.7
	4月	106.4	130.6	147.5	80.7	13.3	0.271	16.8	3.36	9.9
	5月	108.7	128.2	143.9	80.6	13.6	0.270	17.0	3.35	10.0
	6月	109.0	126.9	142.2	80.5	13.6	0.271	16.7	3.31	9.9
	7月	110.4	128.7	142.7	80.5	13.8	0.272	16.3	3.27	9.7
	8月	110.1	126.8	139.1	79.5	13.7	0.274	15.9	3.28	9.7
	9月	110.9	128.9	142.1	78.5	13.9	0.273	16.0	3.35	9.8
	10月	111.8	128.1	142.8	78.2	14.0	0.271	16.0	3.37	9.8
	11月	112.4	127.3	142.3	80.1	14.1	0.270	16.1	3.36	9.9
	12月	111.5	126.4	138.5	78.9	14.0	0.272	16.0	3.36	9.8
2019	1月	108.0	123.0	136.8	76.0	13.5	0.281	15.8	3.35	9.5
	2月	109.4	123.8	139.6	76.9	13.6	0.277	16.1	3.45	9.7
	3月	110.2	124.2	142.6	76.7	13.7	0.275	16.3	3.43	9.6
	4月	110.7	124.1	141.7	77.6	13.8	0.274	16.3	3.43	9.6
	5月	108.9	121.4	136.8	74.2	13.6	0.282	15.6	3.38	9.1
	6月	107.1	120.5	133.0	73.1	13.4	0.288	15.4	3.39	9.0
	7月	107.3	120.0	131.2	73.6	13.4	0.293	15.4	3.44	9.0
	8月	105.3	116.8	125.3	70.0	13.1	0.288	14.7	3.38	8.6
	9月	106.5	116.7	128.5	71.1	13.3	0.288	14.8	3.43	8.8
	10月	107.2	117.9	132.4	71.4	13.4	0.282	14.9	3.48	8.9
	11月	107.9	118.8	136.3	72.3	13.5	0.278	15.2	3.52	9.1

※韓国ウォンは100ウォンあたりのレート

出所) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 外国為替相場

